

要 望 書

「辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す」という基本政策の実行を

昨年12月25日と本年1月17日の2次にわたり、私たちは、11名の呼びかけ人、55の団体、261名の個人の連名で、貴党・枝野幸男代表に対し、「『辺野古移設再検証、ゼロベースで見直す』という選挙公約の実現を」という要望書を提出いたしました。25日に応じていただいた担当者の方は、「選挙前に枝野代表が述べた「沖縄・辺野古」に関わる点も反映されると思う、皆さんのご意見は必ず伝えます」とおっしゃってくれました。

確かに、基本政策に「在日米軍基地問題については、地元の基地負担軽減を進め、日米地位協定の改定を提起します。辺野古移設について再検証をし、沖縄県民の理解を得られる道をゼロベースで見直します」と明記されました。また、党内に「辺野古新基地移設方針に関する再検証委員会」を立ち上げました。しかし、半年経った現在、具体的な取り組みは十分には見えてきていません。私たちが十分に情報を得ていないからでしょうか。

翁長知事は7月27日、強い決意を持って、仲井真前知事が出した「埋立て承認」の撤回を表明しました。辺野古新基地建設反対は県民の大半の意思です。

ところが国は、そうした民意に反して工事を強行しています。8月17日からは、護岸で囲まれた区域に土砂を投入しようとしています。そうするとサンゴや海藻類など貴重な海洋生物が死滅するのは必須であり、取り返しのつかない事態になります。

貴党におかれましては、ぜひとも基本政策に盛り込まれた「ゼロベースでの見直し」の実行を推進していただくよう改めて要望いたします。

あわせて党内での検討経過、現段階での到達状況について随時広報していただくとともに、必要な意見交換の場を設けていただくことを強く要望いたします。

■呼びかけ人

- 中村利也（辺野古への基地建設を許さない実行委員会）
- 川名真理（沖縄への偏見をあおる放送をゆるさない市民有志）
- 野平晋作（ピースボート）
- 福田唯一（辺野古リレー ～辺野古のたたかいを全国へ～）
- 藤田五郎（差別・排外主義に反対する連絡会）
- 加藤宣子（Stop! 辺野古埋め立てキャンペーン）
- 浦野薫（ゆんたく高江）
- 芦澤礼子（沖縄平和ネットワーク首都圏の会有志）
- 宮平真弥（流通経済大学法学部教授）
- 花輪伸一（沖縄環境ネットワーク）
- 大仲尊（沖縄一坪地主）
- 横山哲也（＜語やびら沖縄＞もあい練馬）
- 山本裕子（沖縄の闘いと連帯する東京東部集会実行委員会）
- 林立彦（市民ネット・沖縄から帰れ！神奈川県警）
- 藤野雅之（与那国島サトウキビ刈り援農隊・元代表世話人）
- 加藤富美子（オール越谷市民アクション）（順不同）